

福岡コロナ警報の見直し

- 令和3年11月8日に国の新型コロナウイルス感染症対策分科会から示された「新たなレベル分類の考え方」及び令和3年11月19日に変更された国の基本的対処方針を受け、県民・事業者に対する協力要請を行う本県独自の指標である「福岡コロナ警報」の見直しを行うもの。
- 警報及び特別警報の発動・解除基準の見直しに当たっては、引き続き新規陽性者数をはじめ感染の状況を注視するとともに、第5波の経験やワクチン接種の進捗等を踏まえ、医療のひっ迫を招くことのないよう、これまで以上に医療提供体制にかかる指標を重視する。

【主な変更点】

- ①新規陽性者数については、その増減傾向を注視することとし、具体的な数値は設けない。
 - ②重症病床使用率については、その増減傾向を注視することとし、具体的な数値は設けない。
 - ③注視すべき項目については、「地域別の感染状況」、「ブレークスルー感染の動向」等を追加。
- 警報及び特別警報の発動・解除に伴う県民・事業者に対する協力要請の内容については、国の基本的対処方針に基づいた内容とする。

「福岡コロナ警報」の発動基準

主な指標	現行
★国の判断指標	ステージⅢ相当になる前
①新規陽性者数	7日移動平均の増加傾向が継続 かつ 3日移動平均が100人/日以上に増加
②病床使用率	15%以上 (約220人以上)
③重症病床使用率	10%以上 (約20人以上)
※注視すべき項目	<ul style="list-style-type: none"> 変異株陽性者割合の増加傾向 県外からの人の流入の増加傾向



見直し案
レベル2相当になる時点
7日移動平均の増加傾向が継続
15%以上 (入院者数:約220人以上)
—
<ul style="list-style-type: none"> 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移 地域別の感染状況 重症病床使用率の推移 ブレイクスルー感染の動向 新たな変異株の動向

「福岡コロナ特別警報」の発動基準

主な指標	現行
★国の判断指標	ステージⅣ相当になる前
①新規陽性者数	7日移動平均の増加傾向が継続 かつ 3日移動平均が180人/日以上に増加
②病床使用率	30%以上 (約440人以上)
③重症病床使用率	20%以上 (約40人以上)
※注視すべき項目	<ul style="list-style-type: none"> 変異株陽性者割合の増加傾向



見直し案
レベル3相当になる前
7日移動平均の増加傾向が継続
30%以上 (入院者数:約440人以上)
—
<ul style="list-style-type: none"> 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移 地域別の感染状況 重症病床使用率の推移 ブレイクスルー感染の動向 新たな変異株の動向

「福岡コロナ警報」の解除基準

主な指標	現行
★国の判断指標	ステージⅡ相当以下になった後
①新規陽性者数	7日移動平均の減少傾向が継続 かつ 7日移動平均が35人/日未満に減少
②病床使用率	20%未満 (約290人未満)
③重症病床使用率	15%未満 (約30人未満)
※注視すべき項目	・ 新たな変異株の動向等



見直し案
レベル1相当になった後
7日移動平均の減少傾向が継続
20%未満 (入院者数:約290人未満)
—
<ul style="list-style-type: none"> 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移 地域別の感染状況 重症病床使用率の推移 新たな変異株の動向

「福岡コロナ特別警報」の解除基準

主な指標	現行
★国の判断指標	ステージⅢ相当以下になった後
①新規陽性者数	7日移動平均の減少傾向が継続 かつ 7日移動平均が100人/日未満に減少
②病床使用率	50%未満 (約740人未満)
③重症病床使用率	30%未満 (約60人未満)
※注視すべき項目	<ul style="list-style-type: none"> 入院率が改善傾向にあること 重症者数が継続して減少傾向にあること 中等症者数が継続して減少傾向にあること 自宅療養者数及び療養等調整中の数の合計値が減少傾向にあること 新たな変異株の動向等



見直し案
レベル2相当になった後
7日移動平均の減少傾向が継続
50%以下 (入院者数:約740人以下)
—
<ul style="list-style-type: none"> 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移 重症病床使用率の推移 新たな変異株の動向 <p><緊急事態措置解除の考え方(令和3年9月8日分科会提言)に基づくもの></p> <ul style="list-style-type: none"> 入院率が改善傾向にあること 重症者数が継続して減少傾向にあること 中等症者数が継続して減少傾向にあること 自宅療養者数及び療養等調整中の数の合計値が減少傾向にあること

感染拡大時

- ※ ①～②の各指標を踏まえ、「注視すべき項目」の状況も加味した上で、市町村や専門家の意見も参考にして総合的に判断し、発動を決定する。
- ※「福岡コロナ警報」の発動後、国とまん延防止等重点措置の適用について協議を開始し、**病床使用率が約20%に達した段階で適用できるよう**国に要請を行う。
- ※「福岡コロナ特別警報」の発動後、国と緊急事態措置の適用について協議を開始し、**病床使用率が約50%に達した段階で適用できるよう**国に要請を行う。

感染拡大時

主な指標	 福岡コロナ警報発動の目安	 福岡コロナ特別警報発動の目安
国のステージ判断指標	レベル2相当(注1)になる時点	レベル3相当(注2)になる前
①新規陽性者数	7日移動平均(注3)の増加傾向が継続	7日移動平均(注3)の増加傾向が継続
②病床使用率	15%以上 (入院者数:約220人以上(注4))	30%以上 (入院者数:約440人以上(注4))
※注視すべき項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移 ● 地域別の感染状況 ● 重症病床使用率の推移 ● ブレークスルー感染の動向 ● 新たな変異株の動向 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移 ● 地域別の感染状況 ● 重症病床使用率の推移 ● ブレークスルー感染の動向 ● 新たな変異株の動向

注1) 一般医療及び新型コロナウイルス感染症への医療の負荷が生じ始めているが、医療が必要な人への適切な対応ができていない状況

注2) 一般医療を相当程度制限しなければ、新型コロナウイルス感染症への医療の対応ができず、医療が必要な人への適切な対応ができなくなると判断された状況



注3) 直近7日間の新規陽性者数の合計を7で割った数

注4) 令和3年11月末時点の確保病床数(1,482床)に基づく人数

感染収束時



※ ①～②の各指標を踏まえ、「注視すべき項目」の状況も加味した上で、市町村や専門家の意見も参考にして総合的に判断し、**病床使用率が50%以下(20%未満)となることが見込まれた段階で**国と緊急事態措置(まん延防止等重点措置)の取扱いについて協議を行う。
 ※ 緊急事態措置(まん延防止等重点措置ないしは県独自の措置)の解除と同時に「福岡コロナ特別警報」(「福岡コロナ警報」)を解除する。



主な指標	 福岡コロナ警報解除の目安 <small>(まん延防止等重点措置の解除要請の目安)</small>	 福岡コロナ特別警報解除の目安 <small>(緊急事態措置の解除要請の目安)</small>
国のステージ判断指標	レベル1相当(注1)になった後	レベル2相当(注2)になった後
①新規陽性者数	7日移動平均(注3)の減少傾向が継続	7日移動平均(注3)の減少傾向が継続
②病床使用率	20%未満 <small>(入院者数:約290人未満(注4))</small>	50%以下 <small>(入院者数:約740人以下(注4))</small>
※注視すべき項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移 ● 地域別の感染状況 ● 重症病床使用率の推移 ● 新たな変異株の動向 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移 ● 重症病床使用率の推移 ● 新たな変異株の動向 <small><緊急事態措置解除の考え方(令和3年9月8日分科会提言)に基づくもの></small> <ul style="list-style-type: none"> ● 入院率が改善傾向にあること ● 重症者数が継続して減少傾向にあること ● 中等症者数が継続して減少傾向にあること ● 自宅療養者数及び療養等調整中の数の合計値が減少傾向にあること

注1) 安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況
 注2) 一般医療及び新型コロナウイルス感染症への医療の負担が生じ始めているが、医療が必要な人への適切な対応ができている状況
 注3) 直近7日間の新規陽性者数の合計を7で割った数
 注4) 令和3年11月末時点の確保病床数(1,482床)に基づく人数

今後の感染拡大における要請

レベル分類		Level 2	Level 3	Level 4	
主な要請等		 福岡コロナ警報		 福岡コロナ特別警報	
		県独自措置	まん延防止等重点措置 (又は県独自措置の強化)	緊急事態措置	
県民に対する要請		<ul style="list-style-type: none"> 「三つの密」の回避、マスク着用、手指衛生など、基本的な感染防止対策の徹底 ワクチン・検査パッケージ制度の適用を受けていない場合、県をまたぐ移動を控える 無症状であっても感染の不安のある場合は、PCR等の検査を受検する 			
		<ul style="list-style-type: none"> 混雑した場所や感染リスクの高い場所への訪問を控える 			
事業者に対する要請	飲食店	認証店	<ul style="list-style-type: none"> 時短要請なし※ 酒類提供可 同一テーブル会食4人以下 	<ul style="list-style-type: none"> 時短要請なし※又は21時時短 酒類提供可 同一テーブル会食4人以下 	<ul style="list-style-type: none"> 21時時短 酒類提供可(会食4人以下) カラオケ設備利用はVTPによる入店限定(収容率50%以下)
		認証店以外	<ul style="list-style-type: none"> 20時時短 酒類提供可 同一テーブル会食4人以下 	<ul style="list-style-type: none"> 20時時短 酒類提供不可 同一テーブル会食4人以下 	<ul style="list-style-type: none"> 休業(酒類・カラオケ提供の場合) 20時時短(酒類等提供なし) 同一テーブル会食4人以下
	集客施設	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者に対する必要な協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 入場者の整理 入場者へのマスク着用の周知等 	<ul style="list-style-type: none"> 入場者の整理、人数制限 CO2センサー等の設置 入場者へのマスク着用の周知等 	
	イベント開催	計画提出 (5,000人超・大声なし)	<ul style="list-style-type: none"> 収容定員まで 	<ul style="list-style-type: none"> 人数上限20,000人 	<ul style="list-style-type: none"> 人数上限10,000人
		上記以外	<ul style="list-style-type: none"> 5,000人又は定員の50%の大きい方 	<ul style="list-style-type: none"> 人数上限5,000人 	
		<ul style="list-style-type: none"> 大声あり収容率50% 大声なし収容率100% 			
		さらなる行動制限の実施 (例) ・VTPの停止 ・日中を含めた外出自粛の徹底 ・飲食店の休業 ・施設の使用停止 ・イベントの中止 ・職場の出勤者数の大幅削減			

※ 時短要請なしの場合は協力金なし